

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 「地域に開かれた学校」を発展させ、保護者や地域の方が学校づくりに主体的に参画し、「地域とともに生徒を育てる学校」の実現を目指します。
- ② より実効性のある学校関係者評価を実現し、教育活動を改善します。
- ③ 保護者や地域の方が、学校の教育活動に積極的に関わることを通して、相互理解を深めたコミュニティスクールを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【地域の人材を活用した“キャリア教育講演会”】

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、2年生の職場体験学習を中止とし、地域の協力のもと「キャリア教育講演会」を行いました。8組の地域のスペシャリストを招いて、それぞれの仕事に関わる話をしていただきました。その仕事を選んだ理由、仕事の大変な所、やりがいなどを話していただきました。それぞれのゲストのみなさんの人柄にも触れることができ、また、仕事そのものにも興味を持つことができる良い機会となりました。講演会後の生徒の感想を見ると、職業に対するイメージが膨らんできているようです。生き生きとした将来の自分をイメージし、目標に向けて、一歩ずつ準備を進めていくことができました。

また講演会後は、講演者の方々にお礼状を書く取り組みを行いました。お話から気づいたこと、考えたことなどを文章にまとめ講演者の方々に送りました。



(住友電装の研究員の方々)



(学校薬剤師の藤戸 健司 先生)

【花いっぱい運動】

本校の花いっぱい運動は、25年以上も続く伝統活動です。毎学期学年ごとにプランターの花の植え替えを行います。また、特別支援学級も生徒昇降口の近くの花壇の整備を行っています。校舎周辺のプランターや花壇は、生徒だけでなく、来校される保護者・地域の皆さんに、心のやすらぎを与えています。

近年はPTAの環境活動として保護者も協力していただき、環境美化活動を推進しています。また、プランターの一部を、JR四日市駅に毎年寄贈していることから、今年度もJR四日市駅から感謝状を贈呈していただきました。3年生の寄贈の時には駅長室に入らせていただき、進路に向けた願掛けの切符も発行していただきました。



(プランターの植え替え)



(JR四日市駅からの感謝状)

【あいさつ運動と下校見守り活動】

朝と帰り、毎日の教員の登下校指導、あいさつの励行に加え、毎週定期的に生徒会本部役員や学級委員による「あいさつ運動」を実施しています。さらに定期試験発表中には、PTA活動として保護者の方々にも参加していただいています。今年度は、生徒会が募集した生徒のデザインによるのぼり旗を作成して活動しています。この伝統のあいさつ運動を継承し続けています。



(保護者の方々の参加)



(朝のあいさつ運動)

(2) コミュニティスクール運営協議会（CSみなと）の取組による効果

CSみなとの委員の方々は、常に学校と家庭、中学生と地域の関わりを深めることを考えていただいています。また、「地元の港中学校を誇りにしたい」という気持ちで様々な行事に取り組んでいただいています。本校では、委員の方々の思いに応えるために学校行事等を計画し、全国学調等の結果からも学習の状況を把握していただくように努めています。併せて「学校評価」を実施し、PDCAサイクルを有効活用しながら、学校教育活動の改善にも取り組んできました。学校⇔地域の双方の活動を共有しあい「地域のこどもは地域が育てる」を基本に「港中学校区」でよかったと思える生徒の育成に貢献できたと思えます。

①子どもたちの自尊感情のさらなる向上②校外も含めた「あいさつ」の励行③将来を考える取り組み、の3つの提言をいただき、CS委員の方々の学校運営への参画の意識も高まっています。これを受けて教職員の意識も変容し、教育活動に生かすことができるようになりました。

3 今後に向けて

家庭⇔学校⇔地域という関係性から、さらに三者が包括的につながり、子どもたちを育てていく地盤が港中学校区にはあります。今年度もコロナウイルス感染症拡大防止のため、「小中合同津波避難訓練」や「阿瀬知川の清掃活動」などが中止となりました。コロナウイルス感染拡大が終息した後は、地域あげでの行事への中学生の参加意識も高めていきたいと思えます。マンション・アパート住まいが目立つ中で、地元とのつながりを深める手立てを考えていく必要があるといえます。

また、5つの連合自治区を担当する中部地区市民センターとの関係性は、他地区とは異なるかもしれません。行政機関を再構築することは難しいとは思いますが、この地区は新しいものと古いものが混在する魅力的な町です。「温故知新」を武器にして、新しい学校づくり、地域づくりに努めていきたいと思えます。